

3 本時の学習

(1) ねらい

謙虚な心を持ち、自分と異なる意見や立場を広い心で受け止め、互いを理解しようとする。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価
導入	1 「許せない」と思った経験について話し合う。	○相手のことが許せないと思ったことはありますか。そのときどんな気持ちになりましたか。 ・イライラした。 ・一緒にいたくないと思った。 ・我慢した。	○生活の中で起こるトラブルを想起させながら、ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
		どうしたら相手を許すことができるだろうか。	
展開	2 「ブランコ乗りとピエロ」を読んで話し合う。 (1) 出番を奪われたピエロの気持ち。 (2) ピエロの気持ちの変容。	○カーテンの隙間からサム演技を見ているピエロはどんな思いだったでしょう。 ・許せない。 ・いい気になって。 ・自分だけ目立ってずるい。 ・自分も大王様に見せたい。 ○あなたがピエロならどうですか。 ◎ピエロはなぜサムをゆるすことができたのだろうか。 【相手の長所⇒許す気持ち】 ・がんばっている姿を見たから ・サムが疲れきっていたから ・お客さんが喜んでいたので 【自分の反省⇒許す気持ち】 ・サムに厳しく言い過ぎた。 ・自分にも目立ちたいという気持ちがあった。	○登場人物や状況を整理する。 ○サムの態度が許せないという腹立たしさや不満、ねたみ、悔しさに共感できるようにする。 ○ネームプレートと心情スケールを用いて自分の気持ちを表現できるようにする。 ○グループで話し合った後、2つの考え方を対比的に板書し、人を許すときの感じ方、考え方を多面的に捉えていく。 ☆ア ○相手のよさを認める心、自分自身を見つめる心を「広い心」としてまとめる。
	3 学習したことを自分の生活に置き換えて考える。	○ピエロのような心が自分にはあったか、ふり返ってみよう。 ・相手の考えや意見を受け入れられないことがあった。	○本時の学習をもとに、これまでの自分を見つめ、これからの生き方について考えが深まるようにする。 ☆イ
終末	4 教師の説話を聞く。		○相田みつをの詩「セトモノとセトモノと」を紹介する。

(3) 評価

☆ア 謙虚な心で相手から学ぼうとする姿勢が大切であると気づくことができたか。

(道徳ノート・発言)

☆イ 相手の意見や立場を受け止め、互いを理解しようという意欲が高まったか。

(道徳ノート・発言)